



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月25日

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所 東  
 コード番号 7309 URL http://www.shimano.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 容三  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 廣瀬 充康 (TEL) 072-223-3254  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 平成29年9月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績 (平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	163,079	△2.0	30,832	△9.8	26,937	△14.8	18,728	△18.3
28年12月期第2四半期	166,428	△15.3	34,163	△24.7	31,630	△36.3	22,922	△37.3

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 20,629百万円( -%) 28年12月期第2四半期 △8,442百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	202.03	—
28年12月期第2四半期	247.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	460,504	404,819	87.7
28年12月期	443,954	391,381	88.0

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 404,047百万円 28年12月期 390,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	77.50	—	77.50	155.00
29年12月期	—	77.50	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	77.50	155.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 29年12月期第2四半期末配当金の内訳 特別配当 71円25銭

3. 平成29年12月期の連結業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	330,000	2.2	63,000	△2.4	58,900	△15.9	42,100	△17.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年12月期2Q	92,720,000株	28年12月期	92,720,000株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

29年12月期2Q	17,075株	28年12月期	16,902株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年12月期2Q	92,702,998株	28年12月期2Q	92,703,416株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、欧州では、輸出の回復により企業マインドが上向いたことや個人消費が底堅く推移したこともあり景気回復基調を辿りました。

米国では、トランプ政権の政策動向が注目を集める中、雇用環境の改善による個人消費の伸びが牽引し、景気は緩やかな拡大が続きました。

国内では、足許堅調な雇用環境が個人消費の回復を下支えし景気は回復基調を持続したものの、海外の政治・経済の先行き不透明感から本格的な回復には至りませんでした。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしてみました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は163,079百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は30,832百万円（前年同期比9.8%減）、経常利益は26,937百万円（前年同期比14.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18,728百万円（前年同期比18.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 自転車部品

欧州市場では、春に入り4月中旬のイースターまで好天に恵まれたものの、以降5月初旬まで不安定な天候が続きました。完成車の店頭販売は例年並みとなり、市場在庫も引き続き適正なレベルを維持しました。

北米市場では、完成車の店頭販売は前年並みに推移し、市場在庫はやや低めを維持しました。

中国市場では、急激に成長したシェアバイクの影響を受け、2015年から続いた完成車の店頭販売の不振回復に水を差しました。特に低価格帯の店頭販売は伸び悩みましたが、市場在庫は適正なレベルで推移しました。

他の新興国市場では、東南アジア及び南米の完成車の店頭販売は引き続き力強さを欠き前年並みで推移しましたが、市場在庫は適正なレベルを維持しました。

日本市場では、スポーツタイプ自転車及び軽快車ともに完成車の店頭販売は精彩を欠きましたが、市場在庫は適正なレベルを維持しました。

このような状況のもと、2017年5月から発売したマウンテンバイクコンポーネント「DEORE」、6月から発売したロードバイクコンポーネント「ULTEGRA」はともに好評をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は129,080百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は27,063百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

## ② 釣具

日本市場では、年始の販売が好調だったことやゴールデンウィーク前後の天候が安定していたことも有り、市場の動きは堅調に推移しました。

海外市場において、アジア市場では景気減速の影響を受けた東南アジア・台湾市場の販売減少が有りましたが、昨年からの引き続き中国・韓国市場は好調に推移しました。欧州市場では、春先は天候に恵まれたものの、以降不安定な天候の影響を受けたこともあり、市場の動きはやや鈍化いたしました。一方、北米市場では天候は概ね良好も消費者の購入マインドが盛り上がり、また豪州市場でも天候の回復や流通在庫の改善は見られたものの力強さを欠きました。

このような状況のもと、日本ではルアー関連製品の販売が好調であったことに加え、販売準備が整い一部前倒しで市場に投入した2017年下期モデルが市場で評価され、売上は前年並みの結果となりました。海外では市況の影響を受けた北米等での販売が勢いに欠けたものの、欧州でのカープリール等の好調な販売と中国・韓国でのルアー関連製品全般の販売拡大が続き、売上は前年を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は33,799百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は3,831百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

## ③ その他

当セグメントの売上高は198百万円（前年同期比1.0%増）、営業損失は63百万円（前年同期は営業損失82百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産・負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は460,504百万円(前連結会計年度比16,550百万円の増加)となりました。これは、現金及び預金が15,820百万円、ソフトウェアが2,025百万円、投資その他の繰延税金資産が1,771百万円、機械装置及び運搬具が1,686百万円それぞれ増加し、建設仮勘定が4,716百万円減少したこと等によるものです。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は55,684百万円(前連結会計年度比3,112百万円の増加)となりました。これは、未払法人税等が2,341百万円増加したこと等によるものです。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は404,819百万円(前連結会計年度比13,438百万円の増加)となりました。これは、利益剰余金が11,543百万円、為替換算調整勘定が1,580百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、190,105百万円(前連結会計年度比6,348百万円の減少)となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、35,787百万円の収入(前年同期は30,628百万円の収入)となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益26,508百万円、減価償却費9,184百万円等によるものです。また主な支出要因は法人税等の支払額7,963百万円等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、30,534百万円の支出(前年同期は16,371百万円の支出)となりました。主な支出要因は定期預金の預入による支出22,374百万円、有形固定資産の取得による支出8,374百万円等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、8,811百万円の支出(前年同期は8,183百万円の支出)となりました。主な支出要因は配当金の支払額7,180百万円等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、原材料価格上昇の影響を考慮するとともに販売予定の製品構成を見直し、次のとおり変更いたします。

平成29年12月期 通期連結業績予想数値の変更 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	330,000	66,000	64,000	44,000	474.63
今回修正予想 (B)	330,000	63,000	58,900	42,100	454.14
増減額 (B-A)	—	△3,000	△5,100	△1,900	
増減率 (%)	—	△4.5	△8.0	△4.3	
前期実績 (平成28年12月期)	322,998	64,546	70,002	50,964	549.76

また、当社グループは株主のみなさまに対する利益還元を経営上の主要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、今回の中間配当金につきましては、前年同期と同様の1株当たり77円50銭(うち特別配当71円25銭)とさせていただきます。なお、当期の年間配当額についても、前期と同様の1株当たり155円を予定しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、連結子会社のShimano Europe Bike Holding B.V.を存続会社として、連結子会社のShimano Europe B.V.及びShimano Europe Retail Division B.V.を合併したため、Shimano Europe B.V.及びShimano Europe Retail Division B.V.を連結の範囲から除外しております。なお、Shimano Europe Bike Holding B.V.はShimano Europe B.V.に社名を変更しております。

### (2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	199,772	215,592
受取手形及び売掛金	34,302	33,522
商品及び製品	31,740	31,561
仕掛品	17,218	17,854
原材料及び貯蔵品	4,658	4,893
繰延税金資産	2,938	3,319
その他	7,151	6,156
貸倒引当金	△244	△295
流動資産合計	297,538	312,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,920	60,958
機械装置及び運搬具(純額)	23,691	25,377
土地	13,342	13,925
リース資産(純額)	44	38
建設仮勘定	9,280	4,563
その他(純額)	6,467	6,998
有形固定資産合計	112,747	111,862
無形固定資産		
のれん	5,814	5,678
ソフトウェア	4,937	6,962
その他	5,219	3,526
無形固定資産合計	15,971	16,167
投資その他の資産		
投資有価証券	13,747	14,277
繰延税金資産	1,304	3,076
その他	3,119	3,013
貸倒引当金	△475	△498
投資その他の資産合計	17,696	19,869
固定資産合計	146,415	147,899
資産合計	443,954	460,504

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,051	12,336
短期借入金	7,477	5,753
未払法人税等	5,856	8,198
繰延税金負債	94	47
賞与引当金	1,781	1,645
役員賞与引当金	191	91
その他	16,611	18,321
流動負債合計	44,063	46,395
固定負債		
長期借入金	1,498	1,280
繰延税金負債	1,079	1,000
退職給付に係る負債	4,031	4,314
その他	1,900	2,693
固定負債合計	8,509	9,289
負債合計	52,572	55,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,667	5,667
利益剰余金	347,840	359,384
自己株式	△96	△99
株主資本合計	389,023	400,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,666	3,965
為替換算調整勘定	△2,063	△483
その他の包括利益累計額合計	1,602	3,482
非支配株主持分	754	772
純資産合計	391,381	404,819
負債純資産合計	443,954	460,504



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	166,428	163,079
売上原価	98,055	95,642
売上総利益	68,373	67,437
販売費及び一般管理費	34,209	36,604
営業利益	34,163	30,832
営業外収益		
受取利息	669	889
受取配当金	183	214
その他	288	122
営業外収益合計	1,141	1,226
営業外費用		
支払利息	82	84
為替差損	2,927	4,600
その他	664	436
営業外費用合計	3,674	5,121
経常利益	31,630	26,937
特別損失		
工場建替関連費用	21	428
特別損失合計	21	428
税金等調整前四半期純利益	31,608	26,508
法人税、住民税及び事業税	8,850	10,183
法人税等調整額	△169	△2,449
法人税等合計	8,680	7,733
四半期純利益	22,927	18,774
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	46
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,922	18,728

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	22,927	18,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,044	298
為替換算調整勘定	△29,325	1,555
その他の包括利益合計	△31,370	1,854
四半期包括利益	△8,442	20,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,310	20,607
非支配株主に係る四半期包括利益	△131	21

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	31,608	26,508
減価償却費	7,579	9,184
受取利息及び受取配当金	△853	△1,103
支払利息	82	84
為替差損益(△は益)	891	3,902
売上債権の増減額(△は増加)	1,006	694
たな卸資産の増減額(△は増加)	586	△592
仕入債務の増減額(△は減少)	1,848	388
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,468	292
工場建替関連費用	21	428
有形固定資産除売却損益(△は益)	112	30
未払賞与の増減額(△は減少)	1,769	1,786
その他	△2,861	996
小計	43,261	42,601
利息及び配当金の受取額	841	1,234
利息の支払額	△94	△85
法人税等の支払額	△13,379	△7,963
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,628	35,787
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,108	△22,374
定期預金の払戻による収入	320	575
有形固定資産の取得による支出	△14,886	△8,374
無形固定資産の取得による支出	△1,434	△1,466
工場建替関連費用の支払額	△26	△123
その他	764	1,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,371	△30,534
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△758	△1,431
長期借入れによる収入	—	76
長期借入金の返済による支出	△270	△257
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9	△11
自己株式の取得による支出	△4	△2
配当金の支払額	△7,179	△7,180
非支配株主からの払込みによる収入	41	—
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,183	△8,811
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,704	△2,790
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,630	△6,348
現金及び現金同等物の期首残高	187,869	196,453
現金及び現金同等物の四半期末残高	176,238	190,105

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	132,630	33,601	196	166,428	—	166,428
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	132,630	33,601	196	166,428	—	166,428
セグメント利益又は損失(△)	30,586	3,659	△82	34,163	—	34,163

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	129,080	33,799	198	163,079	—	163,079
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	129,080	33,799	198	163,079	—	163,079
セグメント利益又は損失(△)	27,063	3,831	△63	30,832	—	30,832

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。